

一言坂の戦跡

浜松に退去する徳川軍は、一言坂で武田軍に追いつかれ戦火を交えた。この戦いで最後尾を務めた本多忠勝の活躍が現在も伝えられている



宣光寺の釣鐘

宣光寺に残る釣鐘は戦死した人々の冥福を祈って家康が寄進したもの







矢奈比賣神社

平安時代の文献『延喜式』にも記載されている古社で、見付天神とも呼ばれる。悉平太郎伝説の舞台としても有名



阿多古山一里塚

一里塚は家康が全国の街道沿いに1里（約4km）ごとに築かせた塚のこと。東海道の両側に残る阿多古山一里塚は市指定文化財



西光寺表門

表門は家康の別荘であった中泉御殿の表門を移築したものと伝わる



旧東海道の松並木

江戸時代に整備された松並木が旧東海道沿いに現存。当時の風情を味わえる



国分寺跡

奈良時代に聖武天皇の詔により建立された寺院の一つ。現在は史跡公園として整備。国指定文化財



中泉御殿跡

鷹狩りのときの休憩所や旅行の際の宿泊施設として家康が設けた御殿。関ヶ原の戦いや大坂の陣などの作戦会議の場にも使われたという。跡地の一部は「御殿遺跡公園」として立ち寄ることができる



西願寺表門

中泉御殿廃止後、裏門を西願寺に移築したと伝えられている



府八幡宮

遠江国府の守護として勧請されたと伝えられる神社。江戸時代に建立された楼門は県指定文化財



城之崎城跡（城山球場）

家康の命で現・城山球場に築城されたが、戦略上の理由から中止。浜松城に本拠を移し、幻の城となった



城山球場の入り口に設けられた、城之崎城跡の案内版

取材・写真協力／磐田市　収録／2023年5月12日